



千葉 俊彦 Toshihiko CHIBA

株式会社サニックス

環境資源開発事業本部

執行役員副本部長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

尊敬する社長から「行け」と言われて、「御意！」と即答しました（笑）。最初はウェブでのアカデミー説明会に上司として参加し、その後も折に触れてフォーサイトの話聞く機会がありました。当初は「自分が受講する」という感覚ではなかったのですが、アカデミーディレクターの長峯さんから、直接説明を聞き「これは面白そうだ」と思い、前向きに考えるようになったんです。

さらに、会社でクリエイターに挑戦する人をからかっていた自分が、いざ受講する立場になったことが面白いなと思いました。きっかけは少し特殊ですが、何度の話を聞いているうちに、受講する意義がしっかりと見えてきました。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

受講するにあたり、「どうせやるなら真面目にやろう」と決意して臨みました。実際に参加してみると、自分がこれまでやってきたことに対する自問自答に一つの区切りがついた感覚があります。新価値創造は会社の大きな課題であること、その中で自分の取り組みもその一部に貢献できていると感じられました。

特に印象的なのは、他の受講生からの意見やアイデアが、自分の発想とは全く違う切り口を持っていることです。自分一人では一生かかっても思いつかないような視点を得ることができ、それが非常に刺激的です。実際に自分が取り組んでいるプロジェクトについて、受講生のみんなと意見交換する機会を設けたりもしました。こんな自主的な活動も、このアカデミーならではのと思っています。この学びを現場で活かし、新たな挑戦を続けていきたいと思っています。



赤澤 礼子 Ayako AKAZAWA

株式会社島津製作所

基盤技術研究所 みらい戦略推進室 企画グループ

副グループ長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

昨年度、アカデミーが始まったと知ったときから、「面白そうだな」と注目していました。けれどその時点では、家庭の都合でスケジュールが合わず参加できなかったんです。今回の金土開催であれば調整しやすく参加を決めました。

第1期で受講したメンバーから「道徳感情論」の書籍を読んで人間理解を深めるプログラムがあると聞いていて、他と違うユニークなポイントだなと感じていました。しかも毎回「とても面白い」という話をするんです。あんまり言われるので予習しようと本を手元に置いていたんですが、全く読み切れていなくて（笑）。実際に学んでみたいという気持ちが強くなり、松波先生や竹林さんの講演を聞いた経験も後押しとなりました。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

期待していた通り、人間理解を深める学びが充実していて、「共感の仕組み」についての大きな気づきがありました。それが本当に目からウロコで、これまで自分の中でモヤモヤしていた「自己理解」が足りていないことの自覚にもつながりました。特に講義の中での「直観が全てで、論理は後付け」という話を聞いて、直観型の自分の特性に自信が持てたのもあります。それを支えるエビデンスも教えてもらったことで、自分らしい自己戦略を見つけられたのが大きな収穫です。

また、講義を通じての知識だけでなく、他の受講生や先生方との交流を通じて得られる刺激が本当に大きいです。モチベーションもぐんと上がり、何より学ぶことが純粋に楽しい。自分自身の成長につながっていると実感できる、とても貴重な時間を過ごしています。



畑中 武蔵 Takezo HATANAKA

日東電工株式会社

経営・ESG戦略本部

経営戦略統括部 戦略投資部 課長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

「変わりたい」という思いが一番の理由です。以前の自分は真剣な中にも遊び心や状況を楽しむ心を持って仕事をしていたのに、いつの間にかチーム形成や創出活動に大切なものを失っている気がして…。それで「昔の自分を取り戻したい」「そこから更に成長したい」と強く思うようになりました。

もう一つは、自分の考え方が通用するのかわ、外部の視点で試してみたいという気持ちもありました。異なる考えを吸収して、自分の引き出しを増やしたいと思ったんです。所属している新規事業開発のマーケティング部でも、「社会課題から提案する」という会社のテーマがあったので、BtoBtoCの視点を含めた方法論を学ぶ場を探していたところ、知人からフォーサイト・アカデミーを紹介されました。これは自分の目指す方向にぴったりだと思い参加を決めたんです。

▶ 実際に受講してみていかがですか

毎日が「学びのシャワーを浴びる」という感覚です。講義を受けた後の帰りの新幹線では、フル回転させた頭は疲れ果てているのに、心は満たされているように感じるんです。

講義の中で印象的だったのが「余白を残す」という考え方ですね。過去に新規事業を手掛けたときは完璧主義で、一分一秒も気を抜かず、自分が全てを把握して指示を出していました。そんな自分がアカデミーでの学びを通じて、余白を残すことで他の人を巻き込んでいく大切さに気づけました。特に、川上と川下、そして横の部門をつなげるためには、完璧主義ではなく柔軟性が必要だと感じています。今、全社に関わる部門にいる自分にとって、この学びは非常に役立つと確信があります。集合知や創発を実現するために、自分の考え方やスタイルを変えるきっかけを得られたことが一番の収穫ですね。



齊藤 克史 Katsushi SAITO

プライムプラネット

エナジー&ソリューションズ株式会社

GX本部 グリーン戦略部 専任部長

Smile Eco Project プロジェクトリーダー

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

これまで仕事で「新価値創造」に取り組んできたこともあって、このプログラムはまさに自分にぴったりだと感じていました。第1期のアカデミーが始まると聞いてから、ぜひ受けたいと思っていたんです。以前松波先生に初めてお会いした時、『ファーストペンギンス』の本を読んで、私が貼っていた付箋の数に驚かれたことを覚えています（笑）。そのくらい感銘を受けていたんですよね。

さらに、自分の会社のプロジェクトに松波先生に参加していただき、お話しの内容に非常に納得できる部分が多く、「新価値創造にはこういう考え方が必要だ」と確信しました。その為には「自分自身がしっかり学ばなければ」と思い、参加を決意したんです。これまでの自分の経験や視点に新しい考え方を取り入れることは、この先の自分にも会社にも大きくプラスになると思ったんです。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

期待以上の内容で、「すべてがいい」と言えるほどです。講師の皆さんは個性豊かで、それぞれが尖った視点を持ちながらも同じゴールに向かっていて、学びが深まります。また、受講生同士の対話からも新しい発見があり、それぞれの意見や考え方に刺激を受けます。

このプログラムでは、毎回「創発」を体験しています。自分では思いつかない視点を持つ人たちと話し合うことで、新たな可能性を見出せるんです。プログラム開始から今まで、アカデミーの存在が自分にとって大切なものになりました。これはまるで 아이폰 が手放せないのと同じように、アカデミーは私にとって欠かせない存在になっています（笑）。



京野 孝史 Takashi KYONO

住友電気工業株式会社

伝送デバイス研究所 開発推進部

グループ長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

きっかけは、社内で松波先生のオンライン講演を聞いたことです。そのときに「面白そうだな」と感じて、自然とフォーサイトへの関心が高まりました。その後、先輩が1期生として参加していることを知り、社内の報告会で活動の様子を聞いて、さらに興味が湧いたんです。「自分もやってみたい」と強く思い、会社のサポートも得て応募しました。

私は研究所に所属しているのですが、普段の業務では「マーケティング視点で新しい価値を創造する」といった議論が少なく、そこに物足りなさを感じていました。フォーサイトで学べば、そういった視点を取り入れられるのではないかと期待し、それが参加の大きな理由だったんです。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

実際に受講してみると、同じ熱量を持つ仲間たちと議論できることが本当に楽しいです。講師の先生方とも直接対話ができることが刺激的で、普段の業務では得られないような新しい考え方を吸収できています。これが会社での課題解決につながると思うとワクワクします。

アカデミーの魅力だなと思うことは、ここでは新規事業や価値創造についての具体的な話ができることです。自分の課題意識をぶつけても、同じ関心を持つ仲間たちや講師の方々が真剣に向き合ってくれる環境があり、実務への応用を考えるうえで大きなヒントを得られています。回を重ねる毎に学びが深まっていくことがとても楽しく、受講を通じて会社にも新たな風を吹き込みたいとモチベーションが上がっています。



▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

田口 私は新規事業開発の異動になったことをきっかけに、歩みたいキャリアを意識しました。そんな自分の想いを知っている上司から紹介を受けたんです。これまでも様々なアイデア発想の研修を受けて来ましたが、今一つ不明確な気がしていました。だからこそ様々な視点を持ち、アカデミックな知見を活用する内容に魅力を感じたんです。

三井 私は研究職として、自分の領域での研究テーマの提案は得意でしたが、新しい価値やビジネスを提案するという事に苦しんでいました。上司に薦められ、ここなら前進するエネルギーをもらえるのではと思って参加しました。

田口 貴大 (株)村田製作所 「絶対に見捨てないという言葉に心を掴まれました」 村上

三井 哲弥 (株)ジェイテクト 「心がもう一度燃え上がる気持ちを味わえています」

村上 真耶 日東電工(株) 「この場には心理的回復力があります」

私はマーケティング部で新価値創造に取り組んできました。その中で、従来のBtoBメーカーの発想に留まらず、ユーザーまでを想定するBtoBtoCのエコシステムの必要性を考えるようになりました。社内ではやっていないことなので0→1を学びたいと思い参加を決めました。

▶ 実際に受講してみているかがですか

田口 刺激的で面白いですね。講師の方を含め参加者全員の雰囲気がいい、居心地がいいんです。初日の講義で言われた「絶対に見捨てない」という言葉には愛情を感じ、新しい価値を生み出す苦しみを知っている我々はがっつり心をつかまれました（笑）。

三井 最初は意識高い系の人が集まるんじゃないかと思って不安に思ってたんですが、全く違って講師の方たちもみんな話しやすく安心しました（笑）。実感していることは、アカデミーに参加して短期間で自分の行動が変わったことです。最初の課題である「気づきを得る」には訓練が必要だと感じ、これまでインドアだった週末に、工場見学や美術館に出かけ、見たこと感じたことを題材に考えてみるようになりました。

村上 心理的安全性が大事だと言われますが、イノベーションに取り組む間には苦しいこともありました。アカデミーの中でディスカッションすると、すり減ったメンタルが元に戻るような感じがします。この場には、自分をニュートラルに戻して、またチャレンジしようと思える心理的回復力があると思います。



▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

田口 新規事業に限らず新しいことを始めると決める時には勇気がいるけれど、アカデミーは、失敗できる場として、全力でぶつかっていきける気がしています。まず第一歩目の勇気を出してやってみることをお勧めします。



村上 自分はスタート前に調べたり考えたりしながら不安もあったんですが、来てみると一瞬で払拭されました。自分の中で心理的ハードルを上げてしまうのは無駄だなと実感しています。時間が取れるなら是非ともやった方がいいと思います。

三井 熱意やモチベーションがある人は是非参加してほしいと思います。アカデミーでは自分って一人じゃないと知ることができました。同じような悩みを抱える仲間と対話する中で、私は心がもう一度燃え上がるという気持ちを味わえています。





▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

丸山 これまでいろんなセミナーや研修を受けて勉強をしてきましたが、どうもピンと来なくて。手詰まり感を感じる中で、現状を打開する新しい手法を求めています。上司に声をかけられ、出張中に松波さんの書籍を夢中で読みました。ここにヒントがあるんじゃないかと感じたんです。

蜂矢 アカデミーのことは、1期で受講したメンバーから聞いて知っていました。自分の仕事は10年後のビジネスを考えていくことなのですが、何の指標もなく手探りでやっているところでした。上司からも薦められ、新価値創造をどうやって進めていけばいいのかを知りたいと思い、参加を決めました。

中村 俊策/九州電力送配電(株) 「人の話をちゃんと聞いて深く考える機会は貴重」

中村 僕は会社でのプロジェクトで、フォーサイトクリエイションに触れていました。この考え方で進めると社内での対話もとても充実した実感があったので、もっと他の分野の人たちとも対話をしてみたいと思い、個人的に参加を決めました。将来、何かを生み出していく人物になりたいんです。

丸山 恭資/グンゼ(株) 「今まで受けたセミナーの中で一番腹落ち感がある」

蜂矢 賀一/(株)オートネットワーク技術研究所 「これまでと価値の捉え方が変わった」

▶ 実際に受講してみているかがですか

中村 多様な受講生と話す中で、全く知らない世界を知ることができて面白いです。自分のいる業界や業務の内容では触れていないことばかりなので、何かヒントがあるはずだと思って楽しんでいます。こうやって人の話をちゃんと聞いて考えられる機会があるっていいですね。

蜂矢 新しい価値を考える指標を知りたいと思っていたので、本を読むだけじゃ入ってこないところを、ワークしながら手を動かしながら身に付けられるのがとてもいいです。いろんな例題に取り組む中で、自分の考え方がいかに硬いものかを思い知らされています (笑) メンタリングでは、凝り固まっている考えを切り替えてもらえました。こんな効果があるんだと発見でした。

丸山 そうそう、毎回頭の体操をしているみたいで、新しい気づきを得られていると実感しています。これまで様々な研修を受けて来ましたが、講義の中でプロセスを学びながらフォーサイトを見つけていくこのアカデミーは、自分の中で一番腹落ちする感じがあります。特にフレームワークが言語化されている点には「なるほどな～」と思うことが多いですね。



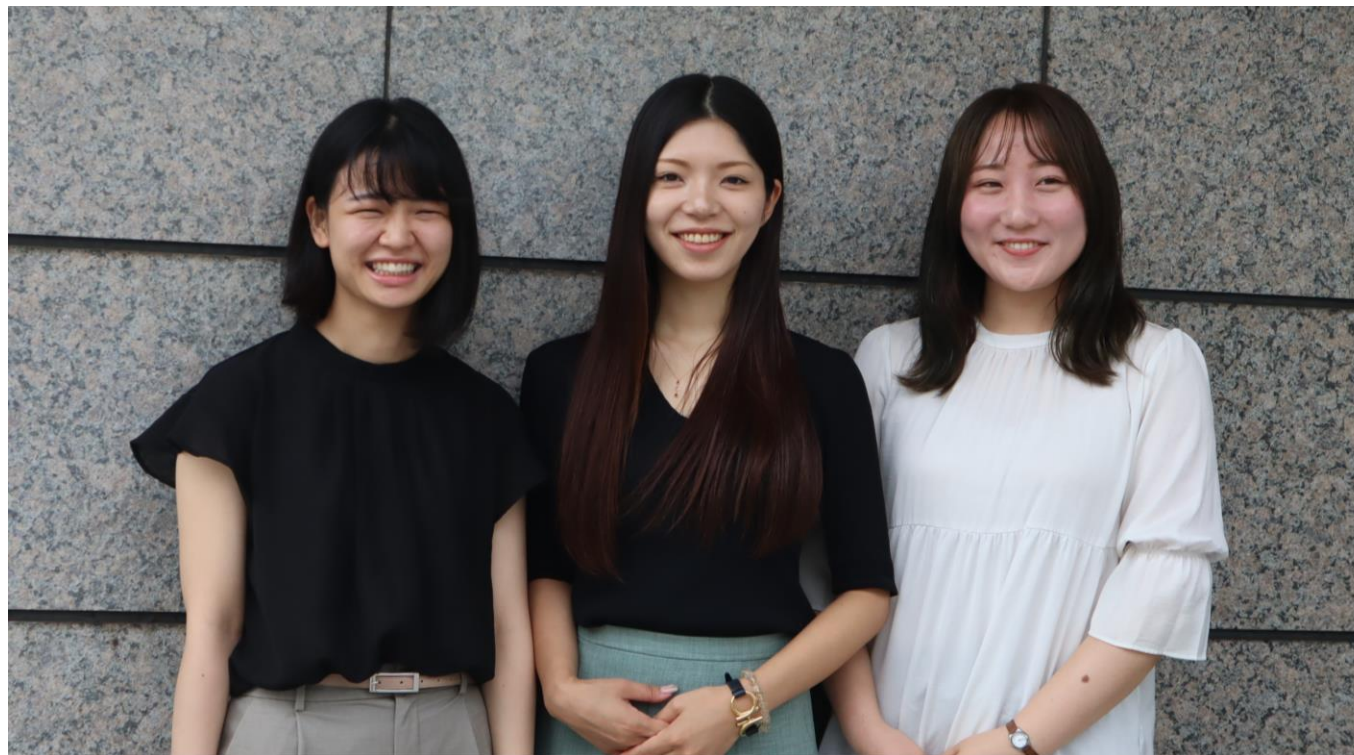
▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

蜂矢 僕はアカデミーを受けてから価値の捉え方が変わりました。これまでは自分の範囲内であつたらいいと思うアイテムや技術を考えていたけど、それは誰かにとって価値がないとダメなんだと考えられるようになりました。この感覚を理解してくれる人が増えると話が通じやすくなるから、多くの人に受けてほしいです。

中村 やるかやらないかを迷った時には、やるほうを選ぶのが僕の主義です。精神的な負荷がかかることが成長につながるし、やったことがないことはやらない理由にならないと思ってるので、なんでもやってみたらいいと思います。

丸山 アカデミックな方法論を学び実践することに加えて、他の企業や違う分野の人たちと交流や対話の中からの気づきが素晴らしいと思います。講師の方々も自分のテーマに親身になって伴走してくれています。そんな体験を多くの人にしてもらいたいですね。





▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

近藤 入社以来、研究開発をやってきましたが、世の中が変わるスピードがすごく早いので、今あるものを研究開発するだけでは追いつかないと思うようになってきていました。そんな時上司に声をかけてもらい、土台を学び、自分なりに出来るようになりたいと思って参加しました

宮本 昨年参加した先輩から絶対やってみるといいと言われたんです。しかもその先輩がアカデミーを受けた後180度考えが変わったと聞いて、どんな研修だろうと興味をもちました。営業から新規事業の部門に異動して、わからないままやってきたので、一から勉強し直すきっかけにしたいと思って。

近藤 璃奈 / 日東電工(株) 「人の意見が疑似体験のように経験値を広げてくれる」 露峰

露峰 祐衣 / 住友電気工業(株) 「楽しく考え、想いを載せることが大事と気づいた」

宮本 晃 / 西部ガスHD株式会社(株) 「苦手だった詳細を考えることが楽しくなった」

私も上司から薦められました。昨年まで開発メインの仕事だったんですが、ずっと企画がやりたいと言い続けていたら、それが実現したんです。ただ部門として企画の人材は非常に少ないため、ひとりで手探りでやるだけでなく基本を学びたいと思い参加を希望しました。

▶ 実際に受講してみているかがですか

宮本 これまでの研修と違い、期間も長く連続しているので、様々な考え方に触れることができています。自分が思いつかないような考え方に触れられてすごく新鮮です。これまでは進めることだけを意識してきたけれど、細部を考えることの大切さを学び、会社に戻って担当者同士でディスカッションをするようになりました。

露峰 私は自分のアイデアが見える形にしていき、それを人にアウトプットする楽しさが見つかりました。何から手を付けるのか、いかに発想の転換や思考を広げるかということをお教えしてもらっています。講師や仲間からのフィードバックを通じて、楽しく考えて自分の想いを載せることを重要視するようになったと思います。

近藤 自分のテーマについて、メタ認知ワークを通じて自分ごとと捉える解像度が上がりました。人にフォーカスして課題解決していく、ニーズを出していくという方法に、大きな気づきがありました。ひと通りの流れ・ステップを教えてくださいながら、アイデアやリフレームをとにかく出し切ってから意識するようになったことは普段の仕事にもとても役立っています

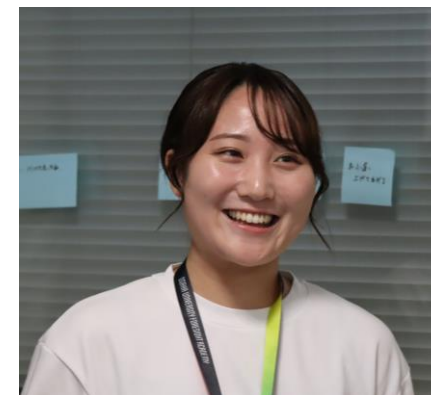


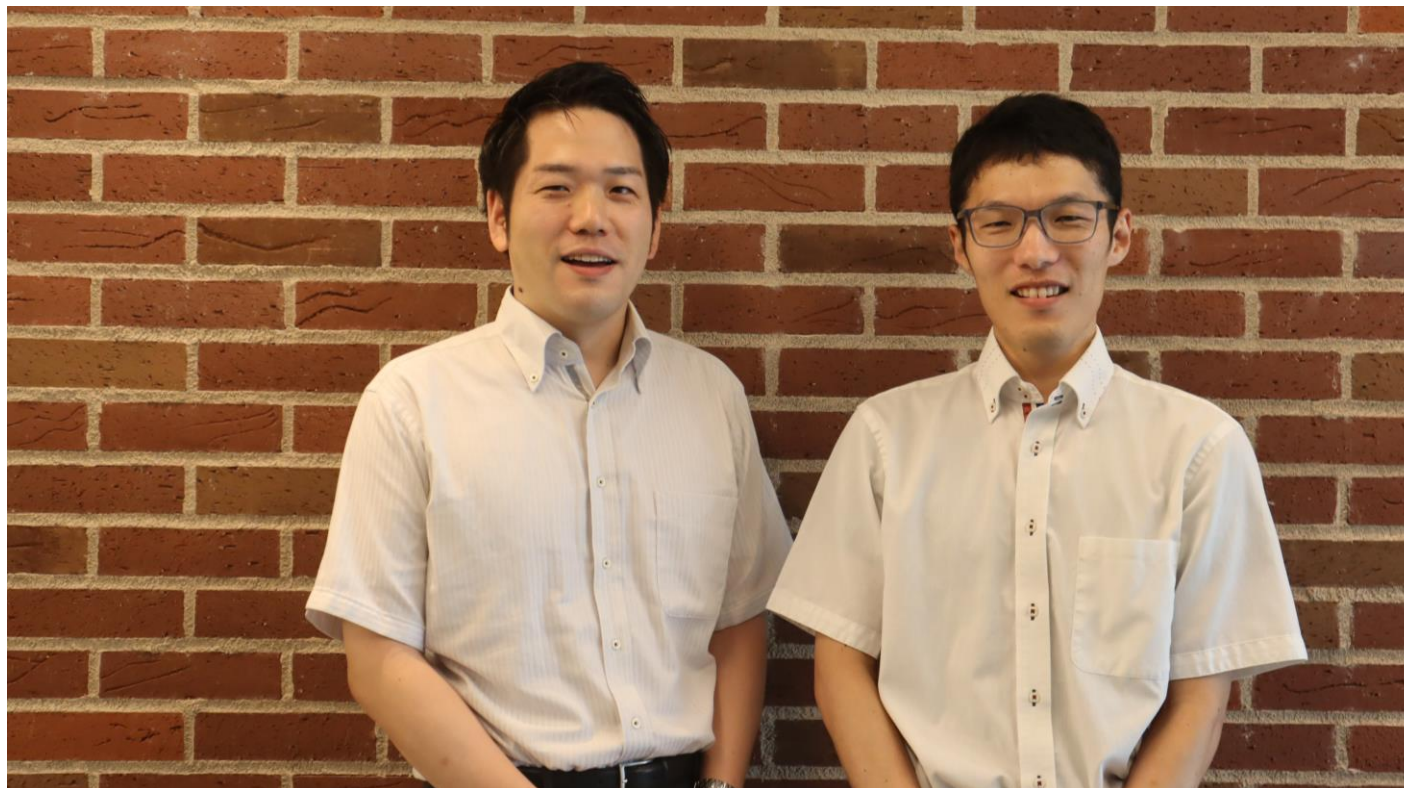
▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

近藤 いろんな分野の人が参加しているというところに魅力があります。分野が違うことで異なる視点を得られます。自分の考え方が広がるのはもちろん、他の人の意見を聞くことが疑似体験みたいな経験値として広がるようにも思います。自分の新しい気づきが必ず得られる場だと思っています。

宮本 私も最初は何をすることが分からず不安がありましたが、毎日がとても楽しみになっています。とにかく周りの人の刺激がすごいので、何かしら自分が掴めることがあると思います。きっと何かが変わります！

露峰 私は個人の考えや作りたい未来を、会社の事業に繋がたいと思っていて、それがますます楽しみになってきました。興味が少しでもあるならやってみることをお勧めしますね。ちょっとした興味で得られる価値は大きいと思います。





▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

六山 第1期のプロデューサー専攻で参加した上司から、「今見えていない価値を探そうという目標に役立つから」と勧められたのがきっかけです。外部セミナーを受けた経験はあまりなく、特に複数回でじっくり取り組むのは初めてでした。

枝吉 僕は4月にフォーサイト社代表の松波さんによる「組織課題解決のセミナー」に参加して、とても面白いと感じていました。継続して学ぶことが大事という上司の想いを受けて、今回も参加することになったんです。



六山俊亮 / (株)ジェイテクト

「批判否定をされずに自由に対話ができる場があるって大きな価値だと思う」

枝吉 拓 / (株)デンソー

「人文知をこんなふうには仕事に活かしていけると思わなかった」

▶ 実際に受講してみているかがですか

枝吉 すごく有意義です。僕は内容について事前情報を知らずに参加しましたが、新価値につながるプロセスが丁寧にプログラムされていて、ひとつの型として学べたことが嬉しいです。これまでどっぷり理系・技術系に浸ってきたので、人文知は知らない世界だったんですが、こんな考えや手法があって、自分の仕事に活かしていけるんだとわかったことは、とても大きかったです。

六山 そうですね。僕もエスノグラフィーの講義では、みな同じものを見ているのに捉え方やメモの取り方が違うことがよくわかって面白かったです。僕は枝吉さんとは逆に、定性で考えがちな文系なので、理系の人たちのものの見方は参考になります。

枝吉 そうそう、ひたすらものを相手にして、理屈でパチッとはまる定量的な世界で生きてきているので、定性的なものを分析するという手法が面白かったですよね。これまで定量は正しく、定性は手に負えないもの、みたいに考えていたので、定性的なものにもそんな手法があるんだということに衝撃を受けました。

六山 初日に「ボケよ」と言われて、なんでもいいから話せる場だと説明があったんですが、意外とこの「ボケる」が難しい。普段の業務の中では真面目なことを言わなきゃいけないというところがあって、逆に突拍子もないことは言いづらいと感じているので、いかにその枠から出るかを考えさせられるなと思ってます。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

六山 間違いなく人脈が広がります(笑)。扱っている商品が違う、見ている業界が違うからこそ 違う観点や意見をもらえるのは新鮮です。一見仕事とは関係のない話の中から、まわりまわって自分の引き出しになる気がします。もうひとつは人のアイデアに、みんながポジティブなフィードバックをし合うこと。批判否定をされずに自由に対話ができる場があるって、大きな価値だと思います。そんな体験をしてもらいたいと思いますね

枝吉 確かに。否定しないという中でやるのも、ありがたい環境だし、自分自身の訓練にもなりますね。粗を探して否定するのって簡単だよと思う。逆にそうじゃないポジティブな見方の練習にもなっています。つまり否定されないという利点もあるし、自分も否定しないことで視野が広がる。迷ってるなら受けたらいいですよ。向いてない人は迷わないと思うので。





▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

北島 第1期に同僚が受講していました。毎回行くとたびに「楽しかった」という感想を聞いていたものの、具体的な内容は知らなかったんです。自分には関係ないと思っていましたが、新しいことにチャレンジできるチャンスが巡ってきた時に上司に声をかけられました。悩んでいたら他の人に回ってしまうと思って参加を即決したんです(笑)。

佐々木 私は新しい部署に代わったばかりの時、上司がじっくり話を聴いてくれて、何をしたいかを伝える機会がありました。その3日後にアカデミーのパンフレットを持ってきてくれたんです。自分のキャリアと一緒に考えてくれることに感動し、成長したいと思い参加を決めました。

北島 美規 / (株)オートネットワーク技術研究所

「知らなかったこと、不十分だったことがわかりました」

佐々木 恵梨 / 日東電工(株)

「いい意味で、予想を大きくめちゃくちゃ裏切られました」



▶ 実際に受講してみているかがですか

佐々木 すごく面白いです。新規事業創出のビジネススクールと聞いて入ったんですが、よくあるビジネスシンキングとかではなく、初めて聞く話ばかり。例えば人文知もフォーサイトクリエーションも、予想を大きくめちゃくちゃ裏切られました。いい意味です（笑）。これまでたくさんの社内研修も受けてきましたが、そのどれとも違うと思います。

北島 これまで新価値創造のために本を買って、その通りにやろうとしてみたこともありましたが、でも全くうまくいかなかったんです。実際にアカデミーを受講してみて、どういうところを見ればいいのか、どんなふうに観察すればいいのかなど、これまで考察や情報収集など出来ていると思っていたことが不十分だったことがよくわかりました。知らなかったことをたくさん得られています。

佐々木 今回、同じ会社から3名参加していますが、実はこのアカデミーで初めて会いました。全く異なる部門なんですけど、これをきっかけに社内でも情報交換をするようになりました。共通の言葉があるからアイデア交換の対話も深くなると実感しています。

北島 第2期は女性も多くそれも良いと思います。社外に出ると様々な情報が得られますよね。女性に限らずテーマの似ている受講生同士の情報交換からアイデアの解像度が上がっています。メンタリングも自分がまだまだ狭い視点で考えていることがわかってとても有効でした。

佐々木 そうそう、私もメンタリングはとてもいい時間でした。自分だけだと気づかない視点をたくさん提案してもらえました。特に自己実現のメンタリングでは、なぜ自分がそれをしたいのかという根幹の深掘りを手伝ってもらいました。なんだかちょっと怖いくらい本質に近づいた感じがしています。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

佐々木 従来の自分の型ややってきたことにこだわりすぎず、ここではぜひ、言われたことを素直に、心を開放して参加すればするほど吸収するものが多いと思います。

北島 私は何も考えずに入って、知らなかったことをたくさん得ています。だから構えずにスタートしたらいいと思います。おぼろげにでも自分のやりたいのを持っているなら、きっと輪郭を作っていける9回になりますよ。





川村 晃子 (株) アイシン 「異なる視点が交わることで新たな発見がありました」

藤田 一真 KOA(株) 「共通言語を持つ仲間と学べることが力になります」

廣森 亮 日本瓦斯(株) 「現場の声を直接聞くことの大切さを認識しました」

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

廣森 会社の総務・人事担当者からフォーサイト・アカデミーを紹介され、興味を持ちました。業務の経験から、新しい事業を考えることに興味があったからです。特に「行動観察」がビジネスの世界でどのように活用されるのか、学問的な視点からのアプローチを知りたいと思い参加を決めました。

川村 社内で情報が回ってきたのがきっかけです。もともと技術調査を担当していましたが、企画業務も担うことになり、学びの必要性を感じていました。行動観察の手法や異業種の考え方を学べる点も魅力でした。

藤田 新規事業に携わる中で、社内の枠組みだけでは限界を感じていました。外の世界を知る必要があると考え、フォーサイト・アカデミーに興味を持ちました。会社のイノベーションマネジメントシステムの導入に関わる中で、より広い視点を獲得するための方法をずっと探していたんです。外部のネットワークを作ることも重要だと考え、上司を説得して受講しました。

▶ 実際に受講してみてもいいですか

廣森 これまで定量的な分析を重視していましたが、定性的な評価の重要性を実感しました。行動観察を通じて、人類学やデザイン思考といった異なる分野が結びつくことを学びました。特にBtoCの事業において、現場の声を直接聞くことの大切さを認識しました。アンケートだけでなく、インタビューを通じた深い洞察が重要だと感じています。

川村 社会技術マッピングのグループワークが印象的でした。異なる視点が交わることで、新たな発見がありました。行動観察を実践する中で、日常の中に潜むパターンや背景に気づくことができました。しかし、それをビジネスにどう結びつけるかが課題です。社内での新規事業提案には、上層部の理解を得る必要があります、その難しさを改めて感じました。

藤田 毎週の講義内容を社内でフィードバックすることで、実務に活かせる学びとなっています。自分自身は、講師だけではなく他メンバーとの対話においても外の視点を取り入れることで、自社の課題をより深く理解できるようになりました。自社からは2名で参加していますが、共通言語を持つ仲間と学ぶことで、孤軍奮闘することなく、新たなアイデアを生み出す力になっています。企画職として、継続的なインプットが不可欠であり、学び続けることの重要性を実感しました。



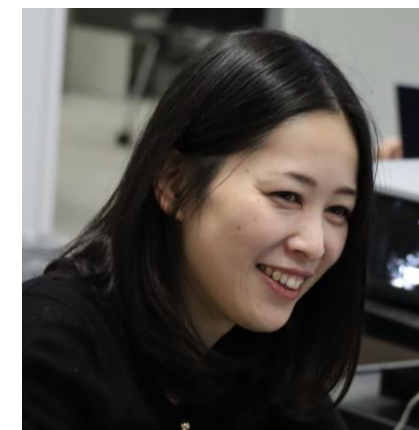
▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

廣森 実践的な学びが得られる場です。本で読むだけではなく、実際に自分で体験することが重要だと実感しました。新しい視点を得ることで、業務に活かせるヒントが得られるはずです。



藤田 企画の仕事では、上司も明確な答えを持っていないことが多く、壁にぶつかることがあります。一人で悩むのではなく、異なる視点を持つ人と対話しながら解決策を見つける場として、フォーサイト・アカデミーは最適です。孤独を感じている人にとっても、共に学び合う環境は大きな支えになります。

川村 まずは短期間でも体験してみることをおすすめします。実際に学びを体感することで、会社に持ち帰りやすくなります。フォーサイト・アカデミーのような場での対話が、新しい発想につながることを実感しています。





近藤 寛之 朝日放送グループホールディングス(株) 「課題の分量が絶妙です」

西 未耶子 (株)サニックス 「自分の考えを発言するという姿勢が身に付きました」

深野 智之 KOA(株) 「ここでの出会いや学びが未来の可能性を広げてくれる」

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

近藤 人事部からの紹介メールで知りました。私は約7年間、新規事業に携わってきましたが、これまで体系的・学術的な視点での学びを得る機会がなかったため、このアカデミーは絶好の機会だと考えました。大学や教育機関の知見、人的ネットワークを広げたいという思いもあり、受講を決意しました。

西 私はプロデューサー専攻を受講した上司からの紹介がきっかけです。会社として新しい取り組みが求められる中、新しい価値を創出する全体像が分からず、不安を感じていました。新しい価値創造のプロセスを学べる良い機会だと思い、受講を決めました。

深野 社内で新規事業創出の部門が立ち上がり、多くの人が関わるようになったものの、成果がなかなか出ない現状を見ていました。人事の立場から学術的視点を社内に伝えれば後押しになると考えたんです。客観的視点を持ちつつ、価値創出の苦しみも知りたい。同じ志の仲間と学ぶことに魅力も感じ、参加を決めました。

▶ 実際に受講してみているかがですか

近藤 毎回インプットとアウトプットを繰り返し、メンバーの意見を取り入れながら思考を深められています。課題の分量が絶妙で、ストレッチしながら取り組める点が良いですね。4か月という期間もちょうどよく、知見をしっかりと吸収できる仕組みになっていると感じます。心理学や人類学など、今まで触れてこなかった概念に出会えたことも大きな収穫です。特に、自分の思考のバイアスを意識できるようになったことが、一番の変化だと感じています。

深野 多くの企業では、既存の事業規模や過去の成功体験に囚われ、新たな価値を生み出すことが難しくがちです。その中で、自分の純粋な思いから共感できる仲間を見つけ、何ができるかを模索することが重要だと感じます。社会課題をビジネスとして成立させるには、説得力のある提案と実行力が求められます。アカデミーを通じて、その難しさと向き合う機会を得られたことが大きな収穫でした。

西 アカデミーでは、新しいアイデアを形にするプロセスを実践的に学べます。人数もちょうどよく、意見を交換しやすい環境です。どんな意見も否定されず、自由に発言できる雰囲気が魅力的です。私自身、以前は会議の場で意見を求められても発言をためらうことがありましたが、アカデミーでの経験を通じて「間違ってもいいから発言する」という姿勢が身についたと感じています。



▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

近藤 社会に新しい価値を生み出したいという意思があるなら、このアカデミーで必ず新しい武器が見つかると思います。参加するか迷っているなら、ぜひ飛び込んでみてください。人生の大切なものを手に入れる一歩になるはずです。



西 私も最初は何も分からずに飛び込みました。しかし、ここに来ることで、同じ志を持つ仲間と出会うことができました。学びはもちろんのこと、これからの人生に役立つ多くの気づきが得られる場だと思います。

深野 新しいことに挑戦するのは勇気がいることですが、このアカデミーはその第一歩を踏み出す場として最適です。迷っているなら、ぜひ参加してみてください。ここで得られる学びや出会いが、きっと未来の可能性を広げるきっかけになります。





▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

橋岡 新規事業開発の初期設計を担当する中、事業がスケールする段階で、自分の得意とする自由な発想から離れているように感じていました。そんな時に上司が「新しいことに挑戦させたい」と声をかけてくれたんです。大学院時代に学んだ価値設計を、実務に活かせる形で深めたいと思ったんです。

橋目 僕は新規事業部門で5年間、複数のプロジェクトを実施してきましたが「今の延長では成長が止まる」と感じ始めていたんです。上司からも「次のステップに進むにはもっともがけ」と厳しい言葉をもらい、自分の価値観をアップデートする必要性を感じ、手を挙げました。

橋岡 宏臣 ライオン(株) 「自分の価値観をアンラーンする方法を学びました」

橋目 勝太 東京電力パワーグリッド(株) 「これまでの研修のイメージが変わりました」

柏村 有美 ライオン(株) 「信じられるものを形にしていく力を養うことできる場です」

柏村 私も上司から打診され絶対に受けたいと思いました。これまで他社との共創にも挑戦しましたが、事業実現には至らず、もっと自分にできたことがあったのではないかと考えていました。そんな私の姿を見ていた上司が「思いがあるなら行ってこい」と背中を押してくれたんです。

▶ 実際に受講してみているかがですか

橋目 受講を通じて「自分はこういうことをやりたかったんだ」と再認識しました。これまでの研修ではどこかで「こんなものだろう」と限界を感じていましたが、アカデミーでは、知識だけでなく対話を通じて新しい気づきを得られるのが魅力です。「人に伝えるにはこう言語化すればいい」と発見できたことも大きな収穫でした。単なる座学ではなく、学びをすぐに実践できる機会が多く、これまでの「受け身の研修」のイメージが大きく変わりましたね。

柏村 アカデミーは「答えを見つける場」ではなく、「行動し続けるための土壌を作る場」だと感じています。わかりやすいツールを教わるのではなく、社会の見方や自分がどう関わっていくのかを考え続けることが求められます。その結果、日常のニュースの見方が変わりました。今は学んだことを社内にどう伝えるかが自身の課題です。

栃岡 最も印象に残ったのは「8つ玉（コンピテンシー）」を用いて、自分の価値観をアンラーンする方法を学べたことです。社内の常識や従来の枠組みから一歩外に出る視点を得られました。一方で、新価値創造の手法が学問的に体系化されているものはないとわかりました。アカデミーでは単なる知識ではなく、実践を通じた学びがある点が大きな価値だと思います。



▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

柏村 「仲間とともに新しい価値を生み出したい」「信じられる何かを見つけない」と本気で思っている人には最適なプログラムです。もがきながら挑戦している人は多いと思いますが、この場ではそのための武器を得られます。実践的な学びを通じて、信じられるものを形にしていく力を養うことができると思います。



栃岡 世の中に関心を持ち、積極的に学び、実践しようという意欲が必要です。そうすれば、お互いが学びながら他者にも影響を与える存在になっていることを実感できるはずです。

橋目 「自分を変えたいけれど、どうしたらいいかわからない」——そんな人は、ぜひ飛び込んでみてください。いったんこれまでの固定観念を手放し、新しい学びを得ることで、自分自身を見つめ直すことができます。また、異なる業界や分野の仲間との対話を通じて、これまでになかった視点が生まれます。自分の経験を分解し、統合し直す貴重な機会になるはずです。





川村 晃子 (株) アイシン 「異なる視点が交わることで新たな発見がありました」

藤田 一真 KOA(株) 「共通言語を持つ仲間と学べることが力になります」

廣森 亮 日本瓦斯(株) 「現場の声を直接聞くことの大切さを認識しました」

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

廣森 会社の総務・人事担当者からフォーサイト・アカデミーを紹介され、興味を持ちました。業務の経験から、新しい事業を考えることに興味があったからです。特に「行動観察」がビジネスの世界でどのように活用されるのか、学問的な視点からのアプローチを知りたいと思い参加を決めました。

川村 社内で情報が回ってきたのがきっかけです。もともと技術調査を担当していましたが、企画業務も担うことになり、学びの必要性を感じていました。行動観察の手法や異業種の考え方を学べる点も魅力でした。

藤田 新規事業に携わる中で、社内の枠組みだけでは限界を感じていました。外の世界を知る必要があると考え、フォーサイト・アカデミーに興味を持ちました。会社のイノベーションマネジメントシステムの導入に関わる中で、より広い視点を得るための方法をずっと探していたんです。外部のネットワークを作ること重要だと考え、上司を説得して受講しました。

▶ 実際に受講してみてもいかがですか

廣森 これまで定量的な分析を重視していましたが、定性的な評価の重要性を実感しました。行動観察を通じて、人類学やデザイン思考といった異なる分野が結びつくことを学びました。特にBtoCの事業において、現場の声を直接聞くことの大切さを認識しました。アンケートだけでなく、インタビューを通じた深い洞察が重要だと感じています。

川村 社会技術マッピングのグループワークが印象的でした。異なる視点が交わることで、新たな発見がありました。行動観察を実践する中で、日常の中に潜むパターンや背景に気づくことができました。しかし、それをビジネスにどう結びつけるかが課題です。社内での新規事業提案には、上層部の理解を得る必要があります、その難しさを改めて感じました。

藤田 毎週の講義内容を社内でフィードバックすることで、実務に活かせる学びとなっています。自分自身は、講師だけではなく他メンバーとの対話においても外の視点を取り入れることで、自社の課題をより深く理解できるようになりました。自社からは2名で参加していますが、共通言語を持つ仲間と学べることで、孤軍奮闘することなく、新たなアイデアを生み出す力になっています。企画職として、継続的なインプットが不可欠であり、学び続けることの重要性を実感しました。



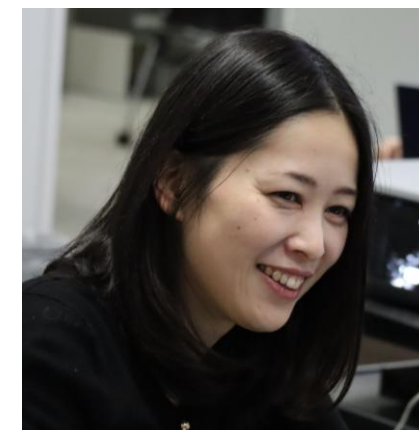
▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

廣森 実践的な学びが得られる場です。本で読むだけではなく、実際に自分で体験することが重要だと実感しました。新しい視点を得ることで、業務に活かせるヒントが得られるはずです。



藤田 企画の仕事では、上司も明確な答えを持っていないことが多く、壁にぶつかることがあります。一人で悩むのではなく、異なる視点を持つ人と対話しながら解決策を見つける場として、フォーサイト・アカデミーは最適です。孤独を感じている人にとっても、共に学び合う環境は大きな支えになります。

川村 まずは短期間でも体験してみることをおすすめします。実際に学びを体感することで、会社に持ち帰りやすくなります。フォーサイト・アカデミーのような場での対話が、新しい発想につながることを実感しています。





大矢 健人 住友理工(株) 「長期のプログラムだからこそそのメリットがあります」

古田 桃子 (株) ミルボン 「仲間と議論しながら学べる点が非常に魅力的です」

豊原 友樹 (株) デンソー 「僕はアカデミーに参加して人生が変わりました」

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

大矢 もともと新しいことに挑戦したい気持ちがありましたが、所属する部門は既存製品の改良が中心で新規事業に関わる機会がありませんでした。社内でアカデミーの案内を知り、参加を希望したものの最初は断られました。それでも諦めず、情報を集め上司を説得して、ようやく参加が実現しました。

古田 以前、代表の松波さんの講演を聞いたことがあり関心を持っていました。イノベーションセンターに異動した際、新しい環境の中でどう進めばよいか悩んでいたところ、上司から参加を薦められました。業務では教科書や事例がないことに戸惑っていたので、体系的に学ぶ機会になると考え、受講を決意しました。

豊原 プロデューサー専攻を受講していた上司から、アカデミーの話をよく聞いていました。以前参加したワークショップで、周りの受講者が「自分ごと」として課題解決に取り組んでいる姿勢に圧倒され、自分も変わる必要があると強く感じて参加を決めたんです。

▶ 実際に受講してみているかがですか

大矢 最初は新しいアイデアを生み出せるか不安でしたが、プログラムを通じて徐々にイメージが掴めるようになりました。長期のプログラムだからこそ、受講生同士のつながりが深まり、自分のアイデアもより洗練されていくと実感しています。仕事の上でも、これまで感覚的に判断していた部分を論理的に整理する習慣ができました。

古田 最初は「自分だけ場違いだったらどうしよう」と不安もありましたが、異業種の仲間と対話することで多くの気づきを得ています。同じような悩みを持つ仲間と議論しながら学べる点が非常に魅力的です。また、学びを通じ、これまでデータ分析に頼りがちだった視点から、定性的なリサーチの重要性にも気づきました。研究の場面だけでなく、日常の業務でも、より多面的な視点を持つようになったと感じています。

豊原 普段関わることのない業種の人々と話す機会があり、それが非常に楽しく刺激になっています。毎回のワークを通じて、これまで自分にはなかった視点を学び、考え方の幅が広がったと感じています。物事を多角的に考える重要性を学びました。業務が忙しい中での課題提出は大変でしたが、アカデミーに来ると仲間と話すことでエネルギーをもらい、前向きな気持ちになれました。



▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

古田 あまり構えずに飛び込んで大丈夫です。プログラムを通じて仲間との関係が深まり、異業種でも共通の考え方を学べます。特に、社内へ学びを持ち帰ることを意識すると、より実践的な成果につながると思います。



豊原 大げさかもしれませんが、僕はアカデミーに参加して人生が変わりました。何事にも自分ごとに捉えて行動したいと思えるようになりました。家族からも「前より楽しそうにしている」と言われるほどです(笑)。考え方が変われば行動が変わる、ぜひそんな体験をしてほしいと思います。

大矢 ここでは単なる知識のインプットではなく、自分のテーマを深める時間がしっかり確保されます。学びが実際の行動につながるため、本気で何かを変えたい人にとって、絶好の場になると思います。





近藤 寛之 朝日放送グループホールディングス(株) 「課題の分量が絶妙です」

西 未耶子 (株)サニックス 「自分の考えを発言するという姿勢が身に付きました」

深野 智之 KOA(株) 「ここでの出会いや学びが未来の可能性を広げてくれる」

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

近藤 人事部からの紹介メールで知りました。私は約7年間、新規事業に携わってきましたが、これまで体系的・学術的な視点での学びを得る機会がなかったため、このアカデミーは絶好の機会だと考えました。大学や教育機関の知見、人的ネットワークを広げたいという思いもあり、受講を決意しました。

西 私はプロデューサー専攻を受講した上司からの紹介がきっかけです。会社として新しい取り組みが求められる中、新しい価値を創出する全体像が分からず、不安を感じていました。新しい価値創造のプロセスを学べる良い機会だと思い、受講を決めました。

深野 社内で新規事業創出の部門が立ち上がり、多くの人が関わるようになったものの、成果がなかなか出ない現状を見ていました。人事の立場から学術的視点を社内に伝えれば後押しになると考えたんです。客観的視点を持ちつつ、価値創出の苦しみも知りたい。同じ志の仲間と学ぶことに魅力も感じ、参加を決めました。

▶ 実際に受講してみているかがですか

近藤 毎回インプットとアウトプットを繰り返し、メンバーの意見を取り入れながら思考を深められています。課題の分量が絶妙で、ストレッチしながら取り組める点が良いですね。4か月という期間もちょうどよく、知見をしっかりと吸収できる仕組みになっていると感じます。心理学や人類学など、今まで触れてこなかった概念に出会えたことも大きな収穫です。特に、自分の思考のバイアスを意識できるようになったことが、一番の変化だと感じています。

深野 多くの企業では、既存の事業規模や過去の成功体験に囚われ、新たな価値を生み出すことが難しくがちです。その中で、自分の純粋な思いから共感できる仲間を見つけ、何ができるかを模索することが重要だと感じます。社会課題をビジネスとして成立させるには、説得力のある提案と実行力が求められます。アカデミーを通じて、その難しさと向き合う機会を得られたことが大きな収穫でした。

西 アカデミーでは、新しいアイデアを形にするプロセスを実践的に学べます。人数もちょうどよく、意見を交換しやすい環境です。どんな意見も否定されず、自由に発言できる雰囲気が魅力的です。私自身、以前は会議の場で意見を求められても発言をためらうことがありましたが、アカデミーでの経験を通じて「間違ってもいいから発言する」という姿勢が身についたと感じています。



▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

近藤 社会に新しい価値を生み出したいという意思があるなら、このアカデミーで必ず新しい武器が見つかると思います。参加するか迷っているなら、ぜひ飛び込んでみてください。人生の大切なものを手に入れる一歩になるはずです。



西 私も最初は何も分からずに飛び込みました。しかし、ここに来ることで、同じ志を持つ仲間と出会うことができました。学びはもちろんのこと、これからの人生に役立つ多くの気づきが得られる場だと思います。

深野 新しいことに挑戦するのは勇気がいることですが、このアカデミーはその第一歩を踏み出す場として最適です。迷っているなら、ぜひ参加してみてください。ここで得られる学びや出会いが、きっと未来の可能性を広げるきっかけになります。





▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

栃岡 新規事業開発の初期設計を担当する中、事業がスケールする段階で、自分の得意とする自由な発想から離れているように感じていました。そんな時に上司が「新しいことに挑戦させたい」と声をかけてくれたんです。大学院時代に学んだ価値設計を、実務に活かせる形で深めたいと思ったんです。

橋目 僕は新規事業部門で5年間、複数のプロジェクトを実施してきましたが「今の延長では成長が止まる」と感じ始めていたんです。上司からも「次のステップに進むにはもっともがけ」と厳しい言葉をもらい、自分の価値観をアップデートする必要性を感じ、手を挙げました。

柏村 私も上司から打診され絶対に受けたいと思いました。これまで他社との共創にも挑戦しましたが、事業実現には至らず、もっと自分にできたことがあったのではないかと考えていました。そんな私の姿を見ていた上司が「思いがあるなら行ってこい」と背中を押してくれたんです。

栃岡 宏臣 ライオン(株) 「自分の価値観をアンラーンする方法を学びました」

橋目 勝太 東京電力パワーグリッド(株) 「これまでの研修のイメージが変わりました」

柏村 有美 ライオン(株) 「信じられるものを形にしていく力を養うことできる場です」

▶ 実際に受講してみているかがですか

橋目 受講を通じて「自分はこういうことをやりたかったんだ」と再認識しました。これまでの研修ではどこかで「こんなものだろう」と限界を感じていましたが、アカデミーでは、知識だけでなく対話を通じて新しい気づきを得られるのが魅力です。「人に伝えるにはこう言語化すればいい」と発見できたことも大きな収穫でした。単なる座学ではなく、学びをすぐに実践できる機会が多く、これまでの「受け身の研修」のイメージが大きく変わりましたね。

柏村 アカデミーは「答えを見つける場」ではなく、「行動し続けるための土壌を作る場」だと感じています。わかりやすいツールを教わるのではなく、社会の見方や自分がどう関わっていくのかを考え続けることが求められます。その結果、日常のニュースの見方が変わりました。今は学んだことを社内にどう伝えるかが自身の課題です。

栃岡 最も印象に残ったのは「8つ玉（コンピテンシー）」を用いて、自分の価値観をアンラーンする方法を学べたことです。社内の常識や従来の枠組みから一歩外に出る視点を得られました。一方で、新価値創造の手法が学問的に体系化されているものはないとわかりました。アカデミーでは単なる知識ではなく、実践を通じた学びがある点が大きな価値だと思います。



▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

柏村 「仲間とともに新しい価値を生み出したい」「信じられる何かを見つけない」と本気で思っている人には最適なプログラムです。もがきながら挑戦している人は多いと思いますが、この場ではそのための武器を得られます。実践的な学びを通じて、信じられるものを形にしていく力を養うことができると思います。



栃岡 世の中に関心を持ち、積極的に学び、実践しようという意欲が必要です。そうすれば、お互いが学びながら他者にも影響を与える存在になっていることを実感できるはずです。

橋目 「自分を変えたいけれど、どうしたらいいかわからない」——そんな人は、ぜひ飛び込んでみてください。いったんこれまでの固定観念を手放し、新しい学びを得ることで、自分自身を見つめ直すことができます。また、異なる業界や分野の仲間との対話を通じて、これまでになかった視点が生まれます。自分の経験を分解し、統合し直す貴重な機会になるはずです。

